

一位ヶ岳

学校だより 令和4年3月号
長門市立**俵山**小学校



＜チャレンジ目標＞地域に私たちの元気を届けよう 何ごとにもチャレンジしよう

10歳の誓い ～二分の一成人式～

2月8日、今年度10歳を迎えた4年生の「二分の一成人式」を行いました。

オープニングでは3・4年生によるハンドベル合奏を披露し、その後、4年生入場から始まって、全員が真剣に式に臨みました。二分の一成人証書授与ののち、4年生からは「誓いのことば」、3年生からは「励ましの言葉」、そして、それぞれが呼びかけをしたり、歌を歌ったりして、4年生を祝うとともに、4年生はこれからの誓いを言葉にしました。また、保護者とお互いに手紙を読んで交換し、これまで支えてくれた感謝の気持ちを表すことができました。

二学期の終わりごろから3年生が式の準備を担当し、心に残る式にしようとアイデアをたくさん出してきました。会場の飾りつけや心を込めたメッセージカードをつくったり、歌や詩の朗読を披露したりしました。おかげで、緊張感の中にも心が通い合い、心温まる立派な式となりました。式の後には、サプライズで、4年生から3年生へ感謝状を手渡しました。



春から1年生 ～新入生一日入学～

2月1日、入学まであと2か月の来年度新入生一日入学を行いました。もうすぐ先輩になる1・2年生からは、お祝いのプレゼントを渡しました。また、事故に遭わないように俵山駐在所長さんによる交通安全教室を行いました。

「早寝、早起き、朝ごはん」を習慣にして、元気に新しい生活が送れるといいですね。



あの日から27年 ～防災訓練～

1月17日は、平成7年兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）が起こった日です。この日に合わせて、地震が発生したと想定した防災避難訓練を行いました。今回は、訓練放送の後、シェイクアウト（まずひくく。あたまをまもり。うごかない。）を行いました。その後、平成7年に神戸市で震災に遭われた地域の方から、震災のときの様子について講話をいただきました。「地震は明日起こるかもしれない。靴を履いて出ないと逃げられない。」など、実際に体験しないと分からない貴重なお話に、児童は一生懸命に耳を傾け、防災意識を高めました。



自分なわとび大会

2月2日、なわとび大会を全校児童が体育館に集まって行いました。1月下旬から業間時間にそれぞれが自分の目標をもって練習しました。前跳び、後ろ跳び、あやとび、交差跳び、二重跳び、はやぶさのそれぞれの技を何回できるか自分にトライしました。

閉会式では、各部門の成績優秀者が技を披露しました。なわとびは一人でせまい場所でもできる全身運動です。これからも、自分の技に磨きをかけて行ってほしいものです。高度な技を動画で紹介できず残念です。



俵山小学校では、毎日、朝の会でその月ごとに選んだ金子みすゞさんの詩を朗読しています。月に一度「みすゞタイム」と名付けて、みすゞさんの詩を縦割り班で「どのような気持ちや声の大きさとで朗読すると、気持ちが伝わるだろうか？」と意見を出し合いながら読み方を考える時間を設けています。3月の詩は、「このみち」です。まもなく6年生は卒業を迎えます。この詩のように、何かをめざして自分の道を歩いてほしいです。

このみち
金子みすゞ

このみちのさきには、
大きな森があるうよ。
ひとりぼっちの榎よ、
このみちをゆこうよ。

このみちのさきには、
大きな海があるうよ。
蓮池のかえろよ、
このみちをゆこうよ。

このみちのさきには、
大きな都みやこがあるうよ。
さびしそうな案山子かかしよ、
このみちを行こうよ。

このみちのさきには、
なにかなにかあろうよ。
みんなでみんなで行こうよ。
このみちをゆこうよ。

出典『金子みすゞ全集』
JULIA出版局